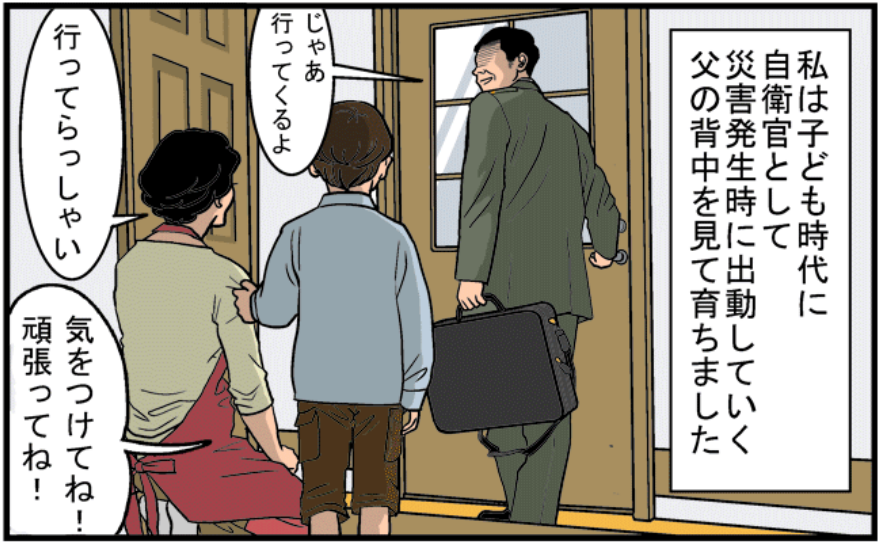




学生時代 阪神大震災の被災地にボランティアに行きました



私は子ども時代に自衛官として災害発生時に出勤していく父の背中を見て育ちました

行ってらっしゃい

じゃあ行ってくるよ

気をつけてね！ 頑張ってね！

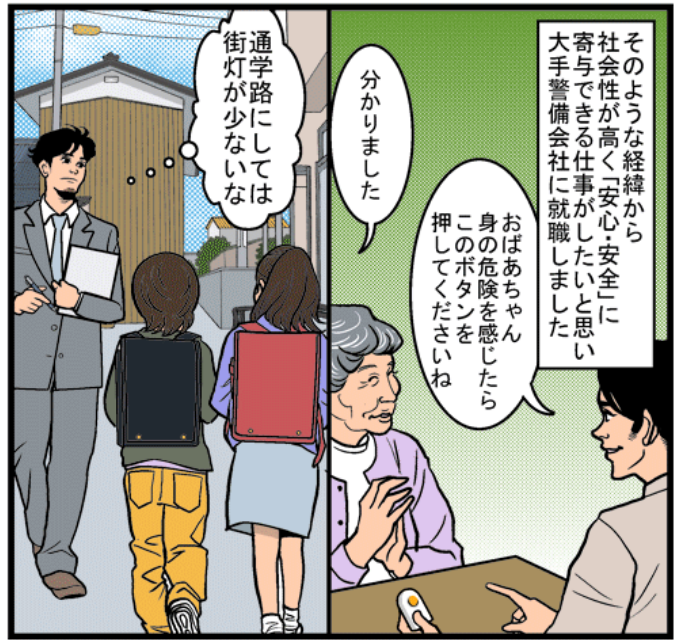


OK

それはあっちに運んでください

より多くの人々の暮らしに貢献したいと思い外務省に入りました

緊急用の物資の管理や対応要領の立案をしていました



通学路にしては街灯が少ないな

分かりました

おばあちゃん身の危険を感じたらこのボタンを押してくださいね

そのような経緯から社会性が高く「安心・安全」に寄与できる仕事がしたいと思い大手警備会社に就職しました



今震災のボランティアに参加しながらその想い（安心・安全な街づくり）を強くしています



これまでの社会経験を活かし故郷狭山の「安心・安全な街づくり」のために働きたいと思い狭山に帰郷しました

やばせ一郎は、これまで官と民の立場で培ってきたノウハウを活かし、「安心・安全な街づくり」を進めます